

いちのみや 財務書類

一宮市では、民間企業のような「発主主義」や「複式簿記」の考え方を取り入れた財務書類を作成しています。財務書類では、資産・負債の状況や、現金収支を基礎とした制度では数値化していなかった減価償却費などを把握し、より詳細に市の財政状況が分析できます。財務書類は、一般会計を主体とする「一般会計等」に加え、特別会計・公営事業会計や第三セクター等関係団体も含めた「全会計」「連結会計」があり、今回はその一部を掲載しています。

詳しい内容は市資料コーナー（本庁舎、尾西・木曽川庁舎）や市ウェブサイトをご覧ください。ID 1003836

貸借対照表(バランスシート) (2024年3月31日現在)

年度末に所有する財産(資産)の総額とその財源がこれから負担するもの(負債)なのか、すでに負担したもの(純資産)なのかを示すものです。

下の表の一般会計等を例に取ります。資産の総額は4,729億円です。この内訳は、これから負担しなければいけない金額が1,180億円、これまでに負担した金額が3,549億円ということがわかります。

(単位：億円)

資 産 市が保有している財産			負 債 これからの世代が負担する借金		
	一般会計等	連 結 会 計		一般会計等	連 結 会 計
1. 公共資産（施設） 市庁舎、学校、道路、公園、病院、上下水道施設など	4,053	6,086	1. 短期の負債 1年以内に支払うもの(2024年度に支払う市債の元金など)	137	294
2. 投資など 基金、出資金など	524	137	2. 長期の負債 1年以上先に支払うもの(2025年度以降に支払う元金など)	1,043	2,543
3. 流動資産 (1) 現金預金 (2) 未収金など	152 72 80	463 279 184	負債の総額	1,180	2,837
資産の総額	4,729	6,686	純資産 これまでの世代がすでに負担したもの		
			純資産の総額	3,549	3,849
			負債と純資産の総額	4,729	6,686

貸借対照表に関する指標

指 標 名	計 算 方 法	一 宮 市	中核市平均値
純資産比率(%)	純資産の総額 ÷ 資産の総額	75.1	70.9
市民ひとりあたり資産額(万円)	資産の総額 ÷ 人口	125.2	150.3
市民ひとりあたり負債額(万円)	負債の総額 ÷ 人口	31.2	43.8

※一宮市は2023年度、中核市平均値は2022年度の値です。

中核市については用語解説②参照

純資産比率は市が保有している資産に占める純資産(これまでに負担済みのもの)の割合です。

一宮市の純資産比率は75.1%と中核市平均値70.9%より高い値となっており、一宮市は将来世代への負担が比較的小さい財政状態にあるといえます。

一方で、一宮市の市民ひとりあたりの資産額、負債額についてみると、いずれも中核市平均値より少ない金額となっています。

行政コスト計算書 (2023年4月1日～2024年3月31日)

行政コスト計算書とは一宮市の1年間の活動をコスト(経費)という側面から示したものです。

福祉サービスに係る経費などの社会保障費や実際の支出が発生しない減価償却費など普段から行政サービスに使う費用(経常費用)と、そのサービスの対価として収入する使用料や手数料など(経常収益)を差し引きすると、純経常行政コスト(市税などで市が負担する金額)が示されます。一般会計等では1,214億円になります。

(単位：億円)

	一般会計等	連 結 会 計
経常費用	1,259	2,862
1. 人にかかるコスト 職員給与、退職金など	224	380
2. 業務にかかるコスト 施設修繕費、光熱水費、減価償却費など	379	697
3. 給付にかかるコスト 補助金、社会保障費など	656	1,785
経常収益	45	405
受益者負担(利用者が支払う使用料・手数料)など	45	405
純経常行政コスト(経常費用 - 経常収益)	1,214	2,457

- 補助金…政策目的のため団体や個人へ支出する経費(例：七夕まつり協進会負担金、町内会運営交付金、自転車ヘルメット購入補助金)
- 社会保障費…社会保障給付として、こども、高齢者、障害者などを援助するための経費

行政サービスの費用から受益者負担(使用料・手数料収入)を差し引いた純経常行政コストは市税などでまかなわれています。

下の黒色の折れ線グラフは、補助金の推移です。一方、点線の折れ線グラフは新型コロナ・物価高騰対策に関連する補助金を除いた推移です。特に2020年度は、特別定額給付金(ひとり一律10万円)をはじめ、大規模な新型コロナ対策が展開されたため大きく増加していますが、以降は新型コロナの落ち着いたことともに減少しています。

これに対して、緑色の折れ線グラフは、社会保障費の推移です。新型コロナの前後で大きな変動はありませんが、医療費などの増加により、少しずつ増え続けていることがわかります。

補助金と社会保障費の推移

